

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成20年度能島東部海岸整備工事報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第104集							
編著者名	田中 謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0028 今治市北宝来町1-1-16							
発行年月日	2010年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	工事期間	工事面積	工事原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまほりしみや 愛媛県今治市宮 窪町宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	20080922 20090210	216㎡	史跡整備
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	海蝕テラス、盛土整 地面、岩礁ピット		土師質土器、国産陶磁 器、輸入陶磁器、石製 品、金属製品等		本工事に伴う出土・ 採集遺物は無し	
要約	<p>史跡能島城跡整備事業に伴い、能島北側の船だまり地区に次いで海岸部の浸食や斜面崩落の危険性が高い、能島東部海岸の保存整備工事を実施した。整備方針・方法については、平成18年度に行った試掘調査成果に基づいている。海岸部の崩落箇所については、船だまりと同様に防波石積工・消波捨石工による整備を行った。消波のための根固石は周囲と調和するよう乱積とし、石積擁壁を被覆している。下部法面は盛土により成形し、上部の表面を植生マット、越波の可能性のある下部は植生土のうにより緑化をはかる。上部法面の急勾配部分には、植生基材マット工を施し、斜面崩落、表面流出を防止した。園路は、平成4年に設置した木製階段の修繕と、不足部分については木製ステップを新設した。舗装は土質舗装とし、周囲と馴染むよう色調に配慮した。また、路肩に縁木を設置し、雨水による土砂の流出を防止した。</p>							